

令和4年度 亀齢荘事業報告

1. 運営の状況

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から、多数が集まる亀齢荘秋まつり・家族交流会は中止としましたが、施設内で実施する各種イベント（誕生会、花セラピー）は実施するなど、コロナ禍に応じた取り組みを行い、制限はありつつも利用者に寄り添いながら過ごせた令和4年度の事業運営となりました。コロナ対策として全職員が国の示した「新しい生活様式」（一人ひとりの基本的感染対策、日常生活を営む上での基本的な生活様式、日常生活の各場面別の生活様式）を実践し、入所施設ではガラス越しの面会などご家族様にも非接触のご協力いただきました。

さて収益については、入院者の増加や利用者・職員の新型コロナウイルス感染による事業の休止など直面する課題に向き合い対処した結果、おおむね安定したサービス提供が継続できたことにより、総体的に収益を確保することができました。

一方、慢性的な人材不足が叫ばれている介護業界であります。老人施設では今年度も年度を通し安定した多職種人材を確保し運営できました。引き続き、職場環境の改善、職員間のコミュニケーションの促進を図り、福祉人材の資質向上そして職場への定着を図ってまいります。

最後に、令和3年度の介護報酬改定で示された「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取り組みの推進」の中長期を見据えた強化策の継続を図り、現下の感染症対策、自然災害対策、さらには物価高騰による施設経費負担対策に努め、利用者の安定的な確保、加算算定維持など収益確保に取り組み地域に信頼される事業運営に努めます。

2. 各事業所の状況

(1) 特別養護老人ホーム亀齢荘

令和4年度の利用稼働率は対前年比3.4%増の92.2%でした。長期化している新型コロナウイルス感染対策ですが、職員の体調管理に加え、ご家族へは面会制限を実施するなど感染予防対策に努めました。また入所者の健康診断や定期的なワクチン接種等、継続的なコロナ感染対策に取り組んだ結果、今年度は施設内での感染者まん延を防ぐことができました。年度当初は前年度からのパラインフルエンザの集団感染の影響で退所者が多く出ましたが、入所待機者等と密に連絡を取り6月以降は満床に近い状態で推移することができました。令和4年度末現在、入所者平均年齢が86才を超え、入所者平均要介護度が4.4と高水準であるため、入所者の体調管理はもちろん、職員の健康管理にも努め、引き続き利用者には安心安全なサービスの提供に努めてまいります。

① 入所者の入所状況（90床）

年 度	利用延人数（年間）	1日当たり平均利用人数	稼働率（%）
3年度	29,180人	79.9人	88.8
4年度	30,284人	83.0人	92.2

② 入所待機者の状況

待機場所	在宅	介護老人保健施設	病院	その他	合計
人 員	44人	2人	22人	10人	78人

R5.3.31現在

(2) 亀齢荘ショートステイ

在宅利用者受入のサービス提供となることから、今年度も感染症には細心の注意を払い新規や既存のサービス提供に努めました。その結果、1日時平均利用者が7.1人と稼働率、平均利用人数共に前年度を超えることができました。新型コロナウイルスが感染症法上の分類が引き下げられる今年度は、さらなる利用者受入体制を構築する一方、感染症対策の継続、利用区域内の感染者の動向等に留意し、地域住民に安心して利用していただ

る施設づくりに努め、安定したサービス提供に努め利用者増に努めてまいります。

年 度	利用延人数	1日当り平均利用人数	稼働率 (%)
3年度	2,111人	5.8人(10床)	57.8
4年度	2,588人	7.1人(10床)	70.9

(3) ケアハウス恕宥荘

一時居室に空きがあった時期もありましたが、年間を通し満床に近い状態で推移しました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため、入所者には家族面会の一部制限や買い物ツアーの制限等、ご不便をおかけすることがありました。現在入居者の状況は高齢化が進んでおり、引き続きお一人おひとりのニーズに合わせてサポートしていくよう努めてまいります。また常時満床に向けた待機者の募集を図っていきたいと思っております。

(入居者内訳)

R5.3.3

1 現在

年 度	地 域	人数	地 域	人数	合計	性別	人数	性別	人数
3年度	いわき市内	17人	いわき市外	2人	19人	男性	8人	女性	11人
4年度	〃	18人	〃	1人	19人	〃	6人	〃	13人

(待機者内訳)

3年度	いわき市内	10人	いわき市外	0人
4年度	〃	5人	〃	0人

(4) 亀齢荘デイサービスセンター

十分な感染症対策を実施しながらサービス提供を行いましたが、それでも新型コロナウイルス感染者が発生しサービス提供を中止したり、利用者の受入制限を実施したりする等、難しい事業運営となり結果として利用人数の減少となりました。感染症法上の分類が緩和される今年度は、感染の予防対策を十分に講じ、どのような状況でも事業継続できる体制を整え、地域に信頼されるよう努めます。また各居宅介護支援事業所との連携、情報共有を図り、一人ひとりのニーズに合ったサービス提供に努め利用者増を目指します。

年 度	類 型	年間利用人数	一日平均利用人数
3年度	標準型	5,603人	18.3人
4年度	標準型	4,672人	15.5人

(5) 亀齢荘ホームヘルプサービスセンター

利用者の新型コロナウイルス感染によりサービス中止や制限する期間がありましたが、感染予防を講じながら事業を実施した結果、利用人数増に結び付けることができました。また今年度は職員研修を定期的に行い利用者一人ひとりへ手厚いサービスを実施しサービスの質を強化することで加算を算定し収益を確保しました。一方、利用者の入院や施設入所更にはヘルパー職員の高齢化など山積する課題を抱えており、これら課題に対処しつつ今年度も質の高いサービス提供に努めます。

年 度	訪問介護 (月平均)	総合事業 (月平均)	合 計 (月平均)
-----	------------	------------	-----------

3年度	570 人 (48 人) 7,214 回 (601 回)	266 人 (22 人) 1,430 回 (119 回)	836 人 (70 人) 8,644 回 (720 回)
4年度	622 人 (52 人) 6,814 回 (568 回)	287 人 (24 人) 1,692 回 (141 回)	909 人 (76 人) 8,506 回 (709 回)

配食サービスについてはコロナ禍でも利用件数が増加しました。引き続き充実した食事内容を提供し、また他居宅介護支援事業所と連携を図り、地域に役立つサービスを実施します。

年 度	延べ配食件数	月配食件数
3年度	2,447	204
4年度	2,955	246

(6) 亀齢荘居宅介護支援事業所

長期化するコロナウイルス感染症等から介護サービスの既存の利用控えはありましたが新規利用者の掘り起こしを図るなど業務実績数は維持することができました。高齢化社会に伴う計画の困難事例が増加しておりますが、伝達会議や関係機関と情報共有しながら業務を遂行しております。今後もスキルアップを図りながら安定した事業所運営に努めてまいります。

年 度	ケアプラン月平均
3年度	117件 (予防23件含む)
4年度	117件 (予防24件含む)